

第14期 第9回白石区地域部会・運営部会

日時:2023年12月13日(水)10:30~12:00

場所:白石区役所 4FA会議室

○出席

常盤野会長・斎藤副会長・ラダーサポート宮西氏・ピアデザイン稲垣氏・相談室きよサポ岡崎氏・相談室あゆみ菅原氏・岸井氏・夢民越後氏・ワンオール赤杉氏・ここりか服部氏・主査佐藤氏・事務局西町

○欠席

ビビット南郷田中氏

1. 報告・連絡事項

* 部会長から

自立支援協議会 全体会 ・地域連絡会 報告

- ・さっぽろ障がい者プラン2024の策定内容を共有。成果目標等の確認。
- ・運営会議では、コロナ前に実施していた協議会専門部会主催による、レベル1研修・レベル2研修について触れられる。障害福祉サービス従事者に向けた、基礎的な知識学習を目的とした研修で、今後再開に向けて継続的に話している。
- ・地域連絡会では、各区の地域部会ごとの名称をある程度統一化すべき、との声が挙がる。講師謝金の取り扱いも同様で、区によって異なる現状。
- ・情報共有では、Googleアカウントを使っているところもあった。

* 子ども部会より

・12月6日(水)研修 とともに学ぼう性教育～「生命の安全教育」を考える～開催。参加者27名。毎年のシリーズ研修として性教育を取り扱い、子どもに性をどう教えるか、LGBTをどう深めているかをテーマとしている。文部科学省が子供の性被害が増えていることに触れ、教育現場で適切に性被害を防止するために教える必要があると判断。研修構成は60分講義、その後に質疑応答。質疑応答では、緊急避妊ピルが解禁となり、販売されている件などの情報が共有され、関心を高めている反応も多かった。

* 就労部会より

年度内に集まる場3回目の開催予定。具体的詳細は、今後検討を進める。

* 初任者基礎研修会より

12月8日(金)、第二回研修を開催。前半講義、後半意見交流の構成。参加者30名参加。実際の支援エピソードを盛り込んだ内容となっており、参加者からは、とても参考になった、困っているのは自分だけでは

なかった、等の声が聞かれる。グループにファシリテーターをつけたため、今月中に集まり、どのような声があったのか共有していきたい。利用者との関わりよりも、同業者としての質問や、何から勉強したら良いか、などの話題が多かった。

* 事例検討会より

11月16日に構成メンバーで会議。

2. 協議事項

* 今後の事例検討会の在り方について

現行の開催方式による継続が困難と判断し、運営委員が一時預かりとする。利用者との対応において、自分たちがどう考えていくのかを深める場としたい。

- ・参加ハードルが高いとの声があるのであれば、段階を整理し、構成を見直す必要がある。
- ・分野が異なると、分からないことが多いため、同分野でのグループワークの方が良い。
- ・運営委員内で一度、事例検討とは、という基本的な目的確認から深めていくことからスタートではないか。
- ・実際事例よりも、やはり架空事例の方が参加者の負担が軽減できるかもしれない。
- ・個別事例を持ち込める機能は残しておく。

* 下半期の活動について

初任者基礎研修チームは、一年サイクルとし、参加者が毎年入れ替わるイメージを理想的と考える。年度末まで残り三か月、残りの活動を考えていきたい。

* 次年度の運営体制について

常盤野会長、斎藤副会長が年度末で退任予定。

次期会長については、副会長のどちらかが新任されることが望まれる。調整は会長に一任。

3. その他

(1) 告知・PR

(2) 次月予定 2024年1月10日(水)10:30~12:00 場所 4階A会議室

次回司会 斎藤副会長